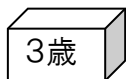


毎年この時期（作品展に向かう各学年の取り組み）になると、改めて子どもたちの素敵さやすごさを感じます。まだどこも何も完成しているわけではありませんが、今そこにあることに対しての楽しさや意欲的な姿勢に感心します。多分、正直、羨ましいのだと思います。自分が今ここにいる子どもたちの一員だったらどうなのだろうかと・・・。私は元けやきの子ではありません。幼児期このようなダイナミックな活動をした経験も記憶もありません。もしかしたら性格も未来も考え方も変わっていたのではないかしら、と。保護者のみなさまも自分の子どもの頃と比べてどうでしょう？もし、私が幼稚園のころはもっとダイナミックで取り組みなんてもっとすごかった、という方がいらっしゃいましたらぜひ聞かせていただきたいです。勉強と参考にさせていただきます。

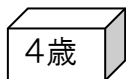
仕事の中でも、「やりがい」とか「生きがい」ってあります。頭の中で考えている「やりたいこと」でないからやらない、やりたくない、より、今やっていること今やってみるの中で、その面白さや魅力を見い出してみる。あるいは、やりたくないことだけどやらなくてはならない・・・ならその中でどうしたら効率的に、要領よくやり遂げられるか考えながら進めてみようとする・・・興味はなくともそのことについて関心を持った証拠です。

きっかけなんてなんでもよいのです。目的はやる気、自己肯定感、達成感につながっていくことです。また、何かの、誰かの役に立っていると思えることや少しの選べる選択肢があること（自分で決めた！）も大事な要素だと思います。今までの生活も重要なファクターですが、創り出していく子どもたちってすごい。それに付き合い、導いていくこともできる先生たちもすごいなと思っています。やり遂げた達成感による成長が活動の目的だとするなら、この目的が将来やりたいことを見つけるためのきっかけに、またなっていくといいですね！

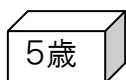
今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）



- ・ 身の回りのことを自分でしようとする
- ・ 仲間と一緒に生活する楽しさがわかって、よるこんで活動に参加する
- ・ “こうしたい”という子どもたちの思い描いたものやこだわりを生かしながら、作る楽しさを経験する



- ・ 集団での役割あそびのおもしろさがわかり、進んで遊びに入っていける
- ・ 自分たちの問題は、仲間と一緒に解決していこうとする芽を育てる
- ・ クラスのみんなとのつながりを感じ、その中にいる自分をうれしいと思う



- ・ 目標に向けて力を出しきり、やり遂げる喜びを味わい、友達とのかかわりの中で自信を感じられるようにする
- ・ 一人ひとりが得意な分野で実力を最大限に発揮でき、互いにそれを認め合える
- ・ 相手の意見を認め合いながら、みんなで1つの結論が出せる